

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	高野裕治	所属	同志社大学
研究会等名称	道徳心理学コロキウム		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 11名 (うち認定心理士 0名) 非会員 6名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>* 下記の(2)及び(3)のみ * 下記 (1) は日本心理学会内であったため、記録なし (およそ 50 人程度)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本年度は 3 回の活動を行った。(2)と(3)の参加者リストを別紙で提出する。 (1) 9/24: 「道徳心理学コロキウム：領域横断的にとらえることはできるか？」 日本心理学会第 79 会大会での公募シンポジウムとして開催。心理学および哲学から 5 人の研究者を登壇者・質問者とし、様々な方面から道徳研究の最前線を報告することを目的とした。各報告は内容的にはかなり多様ではあったが、随所にある関連性が浮き彫りになり、領域横断的なアプローチの重要性を明らかにすることができた。 https://sites.google.com/site/moralpsychcolloquium/nisshinsinnpo2015</p> <p>(2) 3/19: 第 8 回ワークショップ「自己と道徳：感情と身体の観点から」 公開イベントとして開催。自己意識的感情を研究する永房典之氏 (淑徳大学短期大学部) と身体性を研究する田中彰吾氏 (東海大学) の講演と、全体での議論を行った。複雑な文化的現象としての道徳へ効果的にアプローチしていくためには、感情や身体的相互作用の中にすでに埋め込まれている道徳性の萌芽に着目していくことが有効であると確認された。 https://sites.google.com/site/moralpsychcolloquium/di8huiwakushoppu</p> <p>(3) 3/27: ミーティング 次年度以降のワークショップのテーマ設定の準備のため、代表者の高野 (同志社大学) を中心に道徳心理学コロキウムの会員を中心としたミーティングを行った。西崎美穂氏 (首都大) が拡張現実デバイスを用いた幼児のアフォーダンス研究について、木谷俊介氏 (北陸大学) がマウスをモデルとしたパーキン病研究について、片岡雅知 (東京大学) は動機レベルでみた人間の利己性・利他性について、それぞれ報告し討論を行った。これらの報告をもとに、今後はこれまで以上に多様な方法論を用いる研究間の交流を目指すと共に、実社会により密接に関連する現象にも目を向けていくことが確認された。</p>		

研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
道徳心理学コロキウム				
研究集会開催日： 2016年 3 月 19 日				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	片岡雅知	東京大学総合文化研究科		
2	高野裕治	同志社大学赤ちゃん学研究センター	020330	
3	永房典之	淑徳大学短期大学部	○	
4	田中彰吾	東海大学	○	
5	塩谷賢	無所属		
6	藤澤文	鎌倉女子大学児童学部	040359	
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
道徳心理学コロキウム				
研究集会開催日： 2016年 3月 27日				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	片岡雅知	東京大学総合文化研究科		
2	高野裕治	同志社大学赤ちゃん学研究センター	020330	
3	請園正敏	明治学院大学心理学研究科	130309	
4	高野春香	千代田区立児童・家庭支援センター	○	
5	原悠貴	株式会社 構造計画研究所	○	
6	西崎実穂	首都大東京		
7	木谷俊介	北陸大学		
8	中嶋智史	NTTコミュニケーション科学基礎研究所	060133	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2016年 3月 31日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 道徳心理学コロキアム

研究会番号 研15023

助成金額 ¥50,000

年月日	項目	金額
2016年3月27日	領収書代 (講師謝礼用の領収書)	¥334 [✓]
2016年3月27日	用紙代 (研究会のポスター作成用)	¥6,583 [✓]
2016年3月27日	講師謝礼	¥40,000 [✓]
2016年3月28日	文房具代 (研究会の記録及び報告書作成用)	¥2,088 [✓]
2016年3月28日	文房具代 (研究会の記録及び報告書作成用)	¥485 [✓]
2016年3月28日	レターパック (研究会報告書送付用)	¥510 [✓]
支出合計		¥50,000